

VII 平成29年度理工科系大学等への推薦入学等による進学状況調査結果について

公益社団法人 全国工業高等学校長協会附属工業教育研究所

1 調査結果について

平成29年度は工業系高校より理工科系国公立大学へ617人が進学（昨年604人）している。国立大学進学者は52人、大学437人、公立大学進学者は32人、大学180人である。昨年度と比較すると合格者は国立大学では2人の増加となり、公立大学では11人の増加となっている。不合格者については昨年より83人増加し428人（昨年度345人）となっている。工科系私立大学進学者は100以上の大学に5,977人となっている。

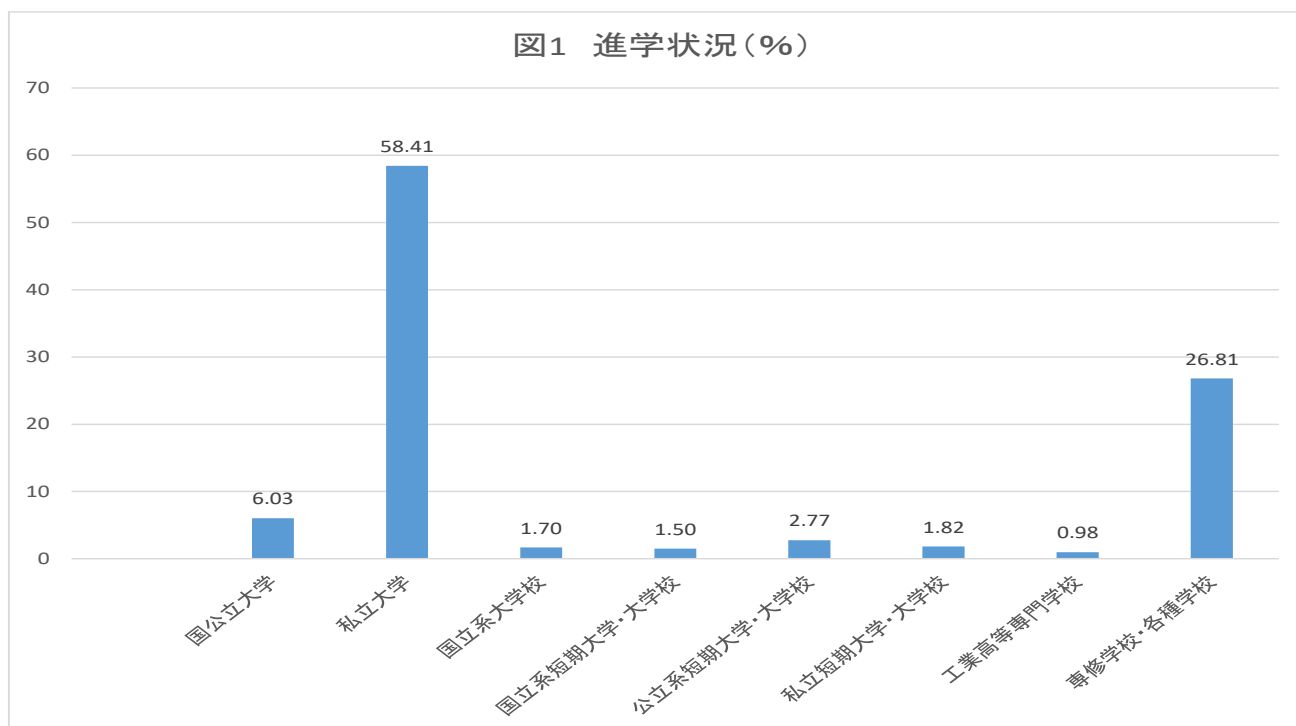
職業能力開発大学校（全国10地区に11校設置）進学者は170人（昨年173人）となっている。

また、工業系高校より4年次に編入することにより卒業後4年生大学に編入可能である工業高等専門学校等への進学者は100人（昨年88人）である。

さらに、産業技術短期大学、2級以上の自動車整備士取得を目指す自動車系短期大学（校）、私立大学附属短期大学部等の短期大学への進学者は約280人（昨年272人）、全国に12校設置されている職業能力開発短期大学校には144人（昨年115人）、各都道府県立工科系短期大学（校）等には283人（昨年298人）が進学している。自動車整備系短期大学（校）以外の進学者は減少傾向にある。

今回の調査を前回の調査と比較検討したが実数、割合とも大きな変動はなかったが、会員校生徒数が減少していることもあり進学者数も減少傾向にある。

[図1]は工科系大学等への進学状況の割合を示したものである。



2 国公立大学について

例年工業系高校卒業生の約4割が上級学校に進学している。進学先である理工科系国公立大学等は積極的に推薦、AO入試等で工業系高校卒業生を受け入れている。国公立大学の推薦入学等入試の形態には、専門高校枠、工業高校枠、県内枠、地域枠等の公募推薦が多く、一般推薦、AO入試等を加えると多岐にわたっている。国立大学が地元の工業高校等と連携を取りながら活動していることもあり、国公立大学への進学が以前よりは有利になってきていると思われる。さらに大学側が専門高校枠（工業高校

枠)を設けるなどフレキシブルな入試の実施により国公立大学への進学者が順調に増えてきているものと思われる。しかしながら、今回の調査でも国公立大学の不合格になった生徒はかなりの数にのぼる。報告のあった不合格者数は428人であり受験者の約41%である。(総受験者数は昨年度に比べ96名増加)国公立大学に挑戦する意欲ある生徒の合格者を増やすことは工業高校のイメージアップに繋がると考える。国公立大学の専門高校枠は増加傾向にあるので、生徒には入学当初からの的確な受験情報を知らせると同時に、教師集団による補習等を含め生徒への積極的なサポート体制により国公立大学進学への道を開くことが受験者の増加と不合格者の減少に繋がっていくのではないかと考える。

3 私立大学等について

今回の調査では、進学者の58.4%が4年制私立理工科系大学に進学しており、100以上の大学に5,977人(昨年5,780人)が進んでいる。私立理工科系大学は積極的に工業系高校卒業生を受け入れており、日本大学の376人を筆頭に日本工業大学、金沢工業大学、愛知工業大学等11大学にそれぞれ100名以上が進学している。

4 おわりに

最近の4年制大学の入試は多種多様となっているが、三本柱は一般入試、AO入試、推薦入試といわれている。表2より、それぞれの入学者については、国立大学ではAO入試3.3%、推薦入試12.2%、一般選抜が83.9%、さらに公立大学ではAO入試約2.4%、推薦入試24.4%、一般選抜が72.6%となっている。

私立大学においては定員の半数近くをAO入試と推薦入試により入学させていることがわかる。

[表1]は平成12年度と平成28年度大学入学者選抜実施状況を比較したものである。

(下表資料:表1、表2は文部科学省HPより抜粋)

[表1]をみると平成12年度ではAO入試の割合は国公立大学を合わせても1.4%の割合であったが、平成28年度ではAO入試実施率は9.1%に増加している。また[表2]では現在の国立、公立、私立大学の入学者選抜実施状況を知ることができる。

平成12年度		平成28年度	
AO入試	1.4%(8,117人)	AO入試	9.1%(56,030人)
推薦入試	31.7%(188,083人)	推薦入試	35.2%(216,995人)
一般入試	65.8%(389,851人)	一般入試	55.4%(341,459人)
その他	1.1%(6,827人)	その他	0.3%(2,100人)
入学者計	592,878人	入学者計	616,584人

(注)その他は専門高校枠、社会人入試、帰国子女、中国引き揚げ者等入試など

[表2]で比較すると平成28年度は平成12年度(AO入試実施開始年度)に比べ、AO入試、推薦入試を経た入学者が大きく増加し入試方法が多様化している。また、国公立別で比較すると国公立大学では一般選抜が中心であるが、私立では約半数がAO入試、推薦入試を経て入学している。

今回の回答率は90%(昨年92%)であった。また、会員校の担当者から入力に関する質問や調査方法、内容に関してさまざまな問合せを頂いたが、調査結果を通して工業高校からの進学に関する具体的な実情を把握することができた。特に、国公立大学の専門高校枠で196人(昨年209人)が合格している。

今後は調査方法や内容をよく精査しその結果等や正確な情報を全国に発信していきたい。今回も多くのお問い合わせを頂いたが、会員校全てから資料の提供があったわけではないので進学実績の

多い高校でも調査対象からもれている場合がある。

今後もこの理工科系大学等への推薦入学等による進学調査を実施する予定であるので、多くの学校から資料提供をお願いする。調査方法、調査時期等を含め、調査結果（データ）を有効活用できるように改善し、課題等の解決を目指して努力していく所存である。

国立大学		公立大学		私立大学	
AO入試	3.3%(3,249人)	AO入試	2.4%(761人)	AO入試	10.7%(52,020人)
推薦入試	12.2%(11,953人)	推薦入試	24.4%(7,664人)	推薦入試	40.5%(197,378人)
一般入試	83.9%(82,583人)	一般入試	72.6%(22,780人)	一般入試	48.5%(236,096人)
その他	0.6%(545人)	その他	0.6%(192人)	その他	0.3%(1363人)
入学者 計	98,330人	入学者 計	31,397人	入学者 計	486,857人

(注)「その他」: 専門高校枠、総合学科卒業生入試、社会人入試、帰国子女、中国引揚者子女等

[表3]は進学状況調査結果、[表4]は、項目別推薦結果、[表5]は国公私大別推薦入試結果である。また、[表6]は、四年制大学の受験者の不合格者数である。

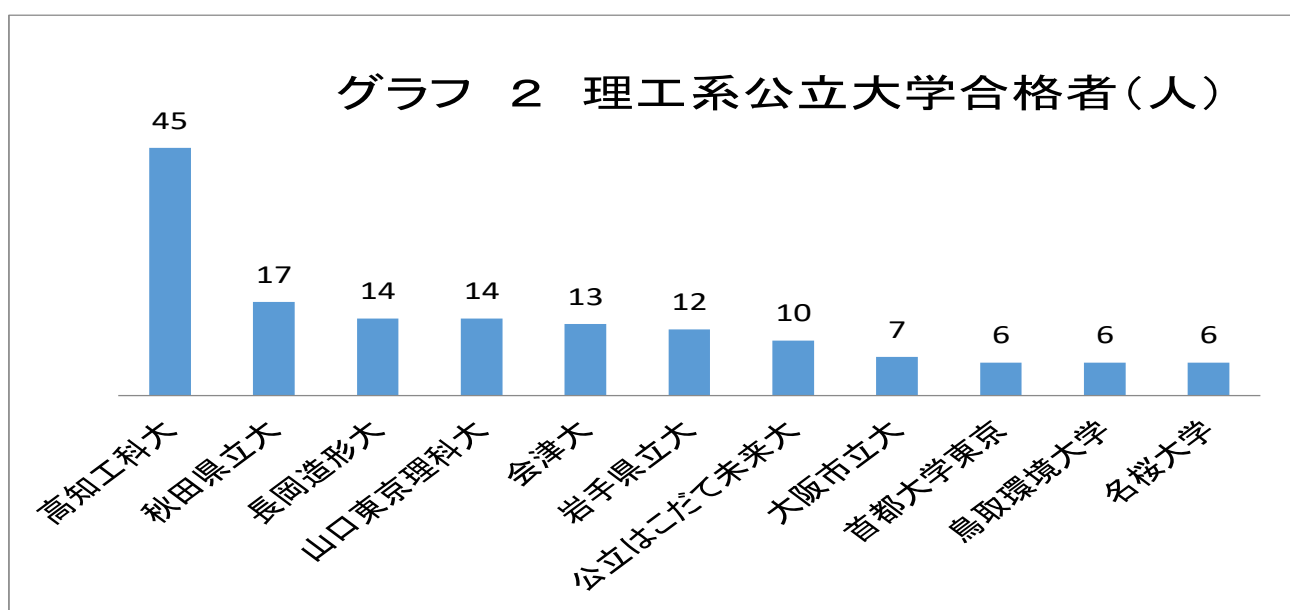
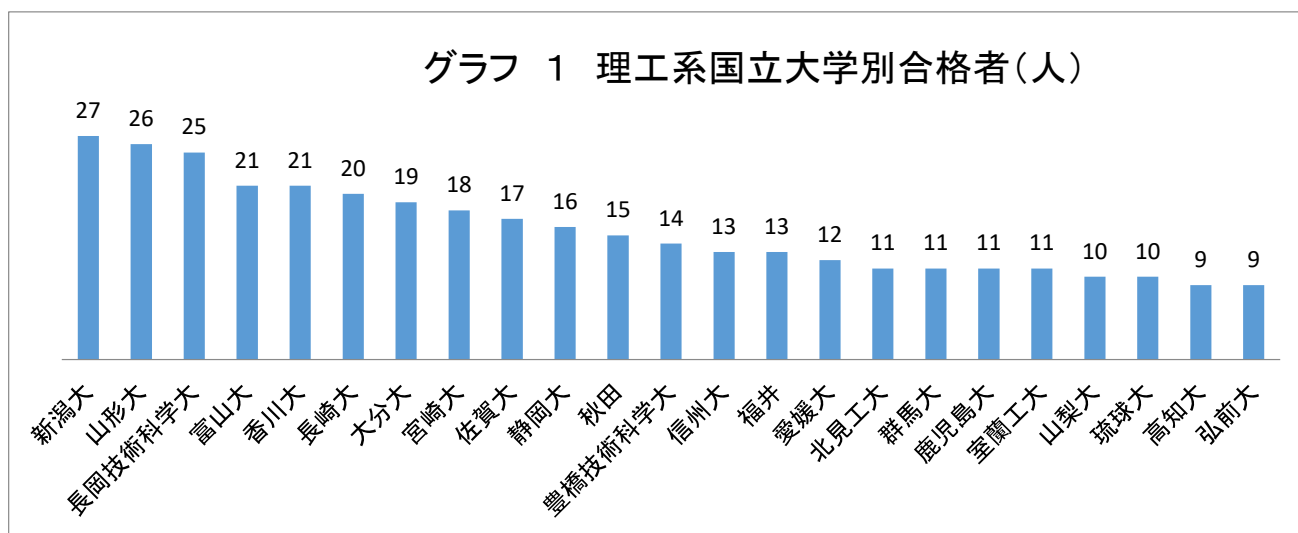
校 種	推薦・男	合格・男	推薦・女	合格・女	推薦・合計	推薦・合格
国立大学	694	387	60	50	754	437
公立大学	243	152	48	28	291	180
私立大学	6,159	5,597	421	380	6,580	5,977
国立系大学校	168	164	12	10	180	174
国立系短期大学・大学校	152	147	6	6	158	153
公立系短期大学・大学校	298	264	19	19	317	283
私立短期大学・大学校	206	175	11	11	217	186
工業高等専門学校	118	93	7	7	125	100
専修学校・各種学校	2,551	2,473	302	270	2,853	2,743
合 計	10,589	9,452	886	781	11,475	10,233

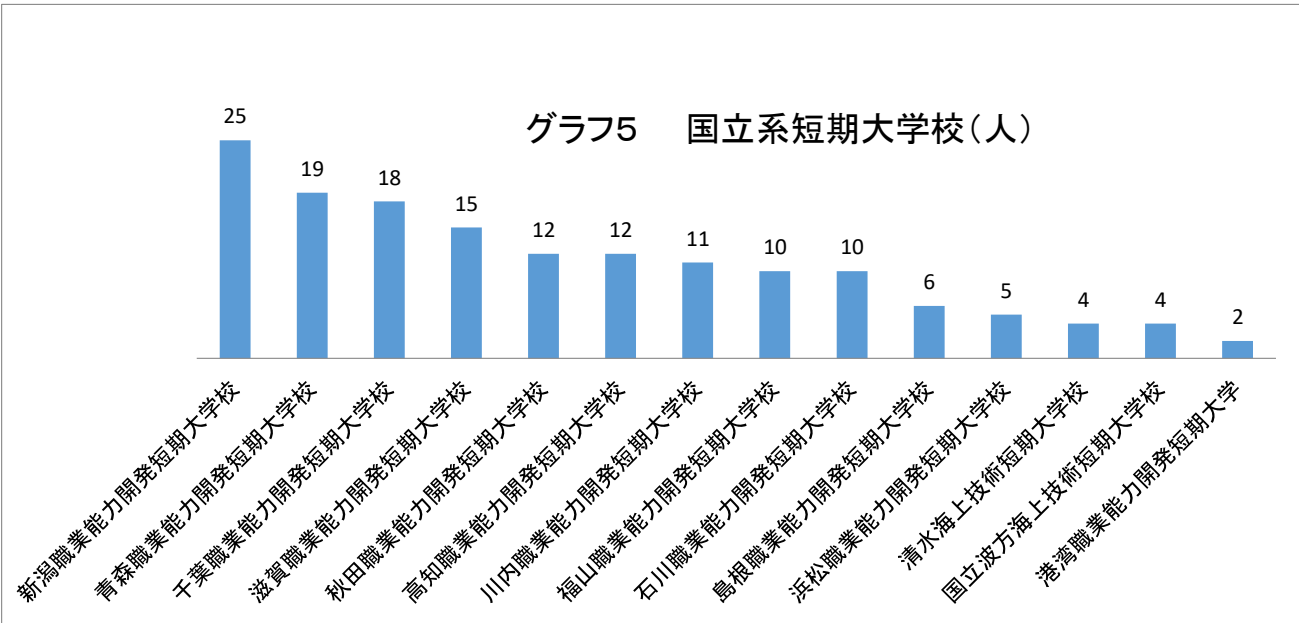
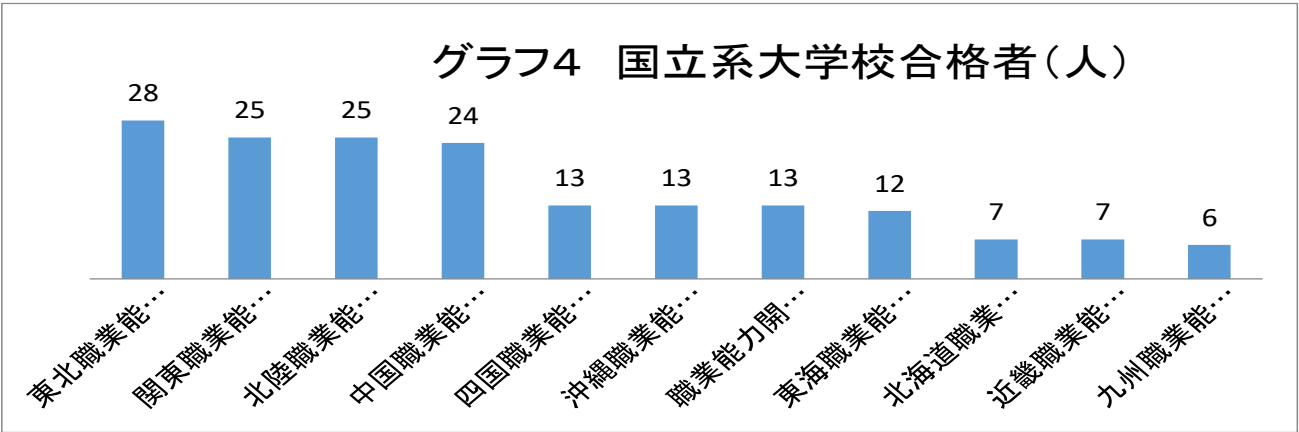
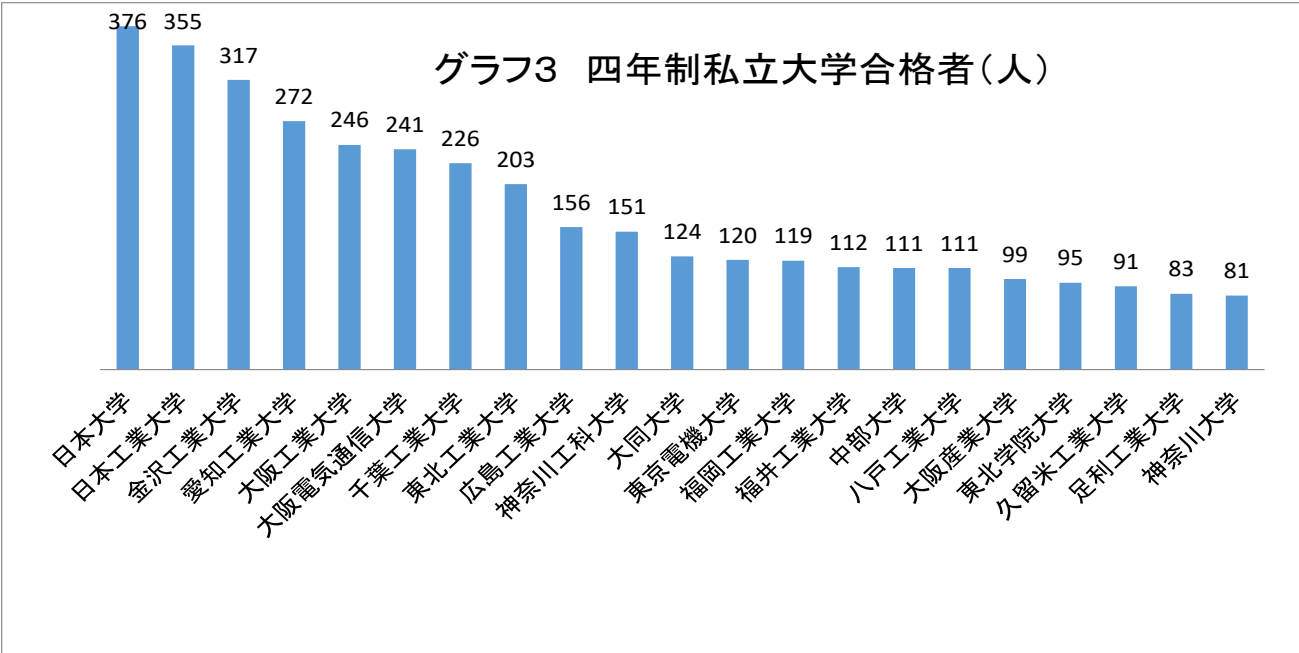
項目別推薦	国立大学	公立大学	私立大学	合 計
専門高校枠推薦	183	36	422	641
公募推薦	72	54	370	496
一般推薦	34	18	158	210
スポーツ推薦	0	0	178	178
地域枠推薦	0	32	7	39
指定校推薦	0	2	3,628	3,630
AO入試	144	31	945	1,120
その他	4	7	269	280
合 計	437	180	5,977	6,594

表5・推薦入試4年制大学の合格率について(人)						
	推薦・男	合格・男	推薦・女	合格・女	推薦・合計	合格・合計
国立大学	694	387	60	50	754	437
公立大学	243	152	48	28	291	180
私立大学	6,159	5,597	421	380	6,580	5,977

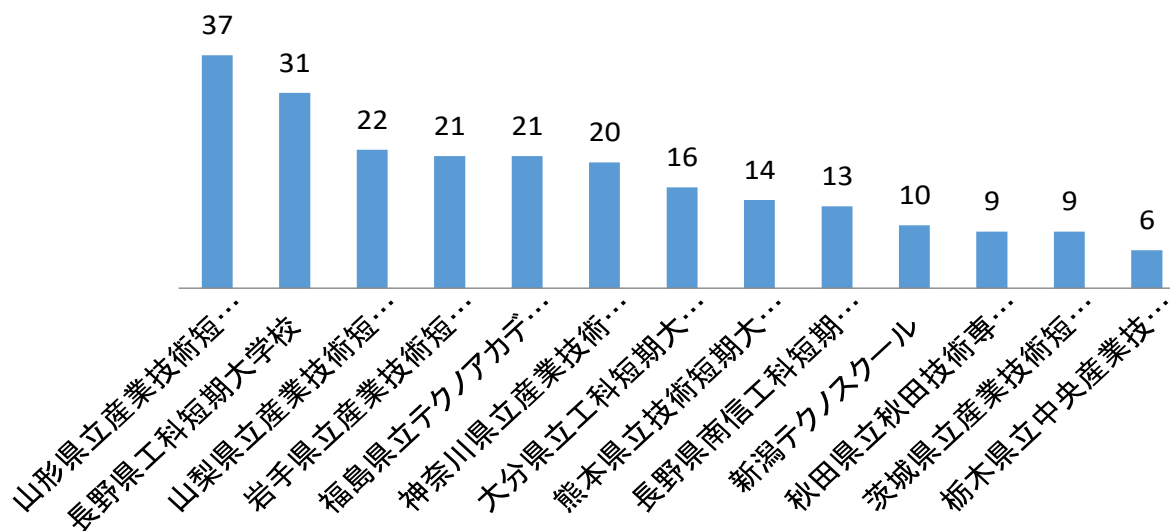
表6・推薦入試不合格者						
国立大学	178人	公立大学	67人	私立大学	416人	合計
						661人

[グラフ1]、[グラフ2]、[グラフ3]等の以下のグラフは国公立大学等の合格者人数の一部を示したものである。統計資料等があるので最後までご確認ください。

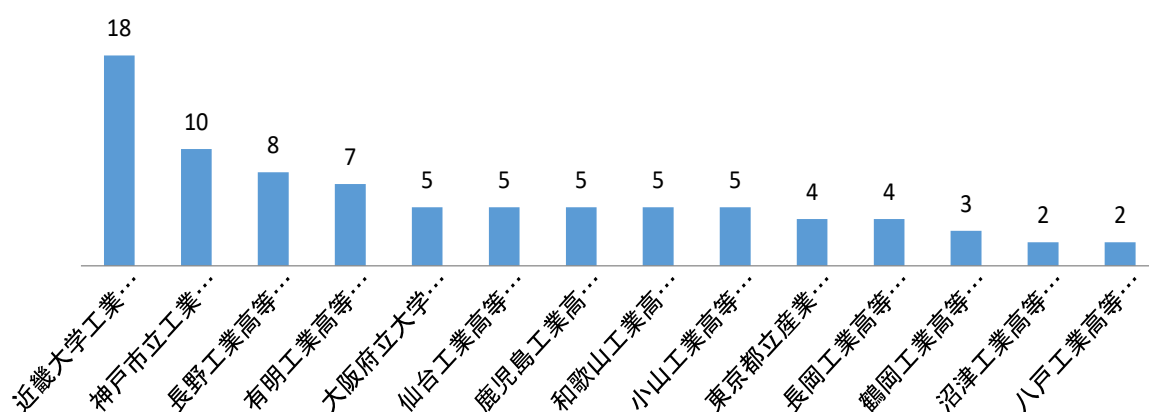




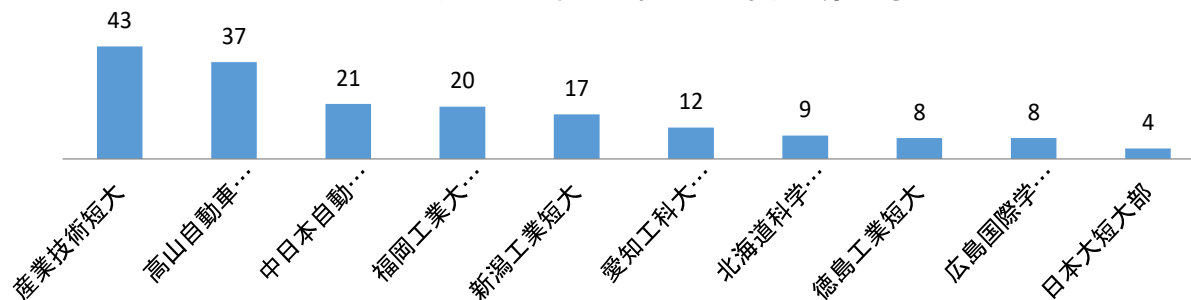
グラフ6 公立系短期大学校(人)



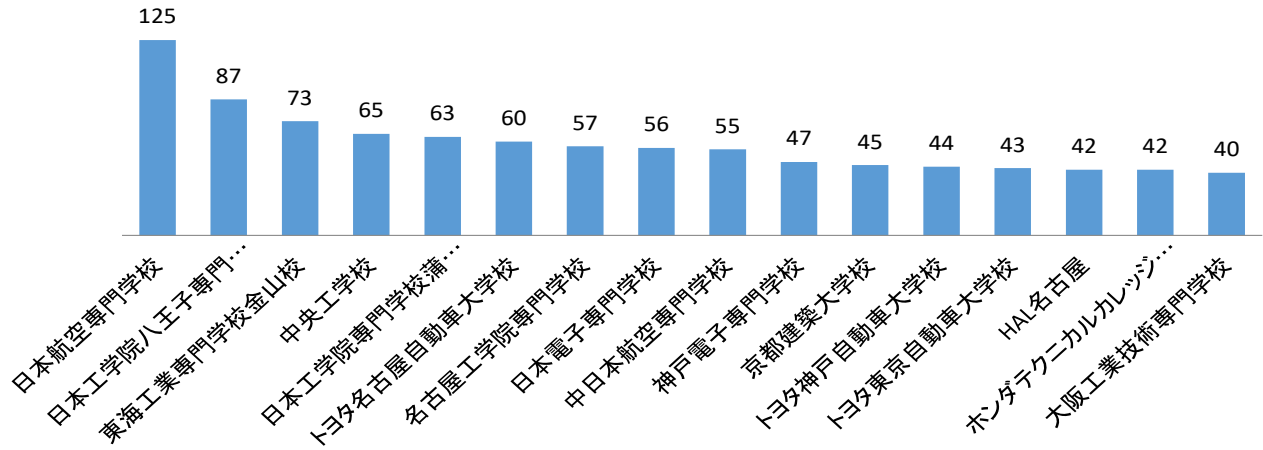
グラフ7 工業高等専門学校(人)



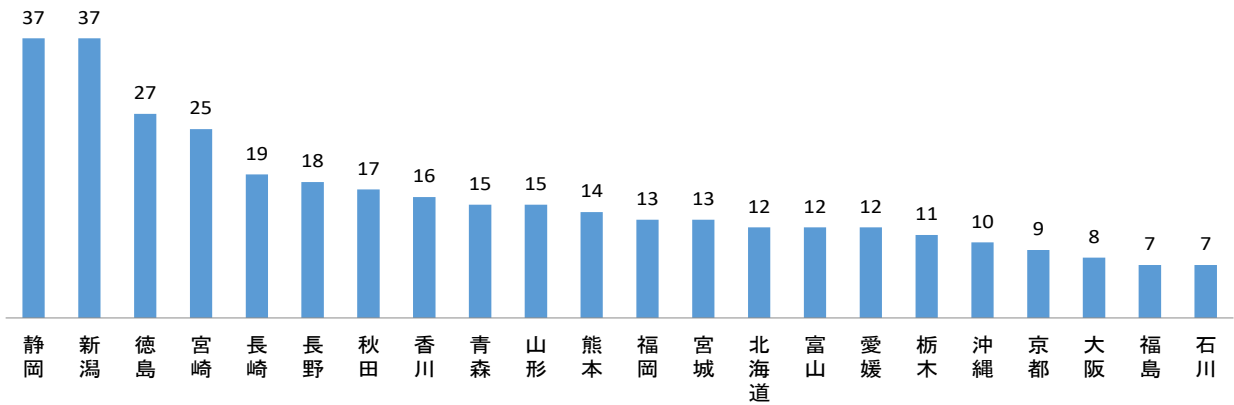
グラフ8 私立系理工系短期大学(人)



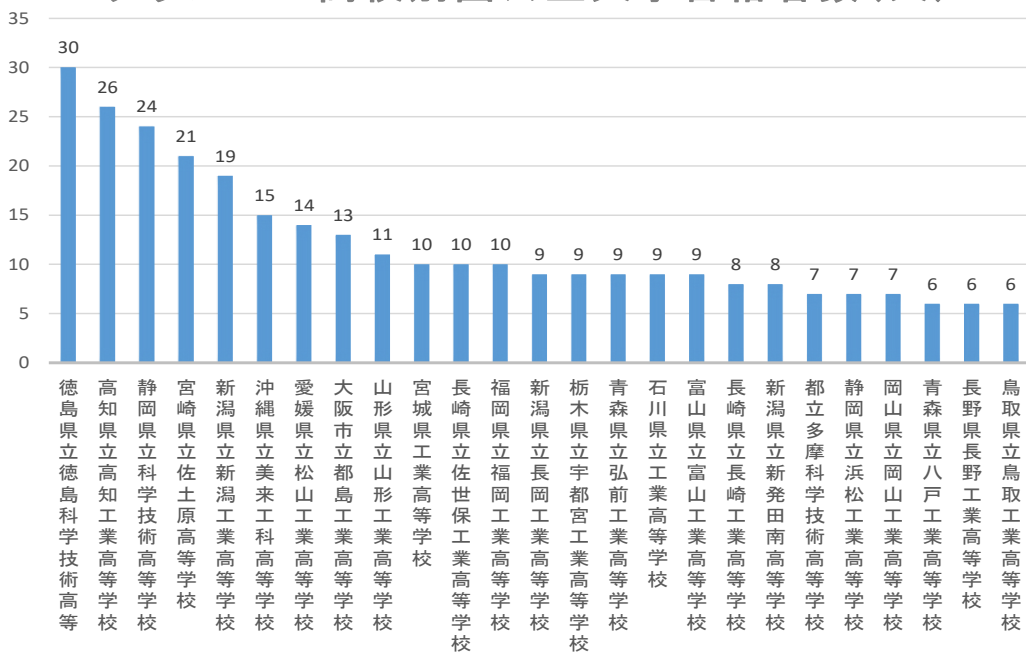
グラフ9 私立専門学校(人)



グラフ10 都道府県別国立大学合格者(人)

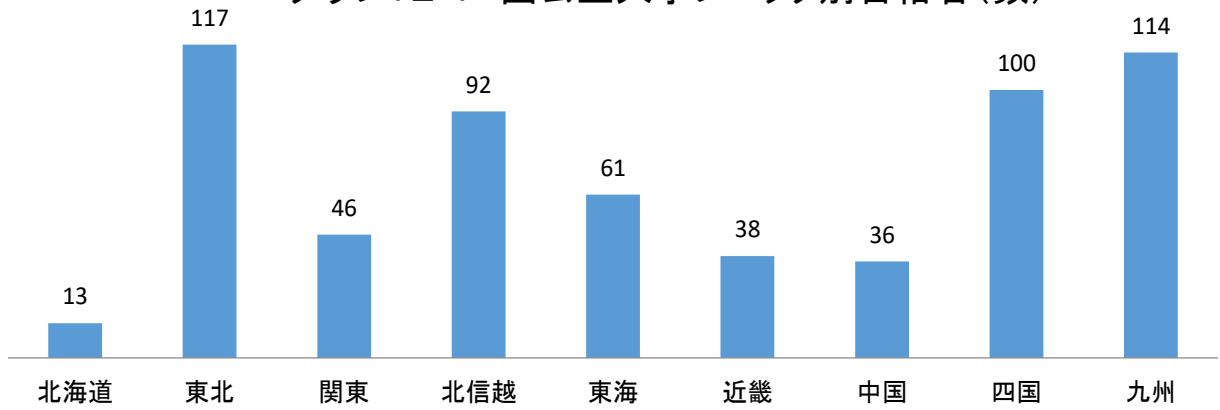


グラフ11 高校別国公立大学合格者数(人)



平成29年度 国公立大学合計者数（平成30年3月調査）					
番号	都道府県	国立	公立	合計	ブロック別計
1	北海道	12	1	13	13
2	青森	15	10	25	117
3	岩手	4	5	9	
4	宮城	13	3	16	
5	秋田	17	18	35	
6	山形	15	1	16	
7	福島	7	9	16	
8	茨城	5	2	7	
9	栃木	11	2	13	
10	群馬	6	2	8	
11	埼玉	0	0	0	
12	千葉	2	0	2	
13	東京	3	6	9	
14	神奈川	2	3	5	
15	山梨	2	0	2	92
16	新潟	37	6	43	
17	長野	18	1	19	
18	富山	12	6	18	
19	石川	7	4	11	
20	福井	1	0	1	61
21	静岡	37	5	42	
22	愛知	6	4	10	
23	岐阜	5	1	6	
24	三重	3	0	3	38
25	滋賀	1	2	3	
26	京都	9	0	9	
27	大阪	8	11	19	
28	兵庫	6	1	7	
29	奈良	0	0	0	
30	和歌山	0	0	0	36
31	鳥取	3	5	8	
32	島根	1	0	1	
33	岡山	6	4	10	
34	広島	6	1	7	
35	山口	4	6	10	100
36	徳島	27	4	31	
37	香川	16	5	21	
38	愛媛	12	3	15	
39	高知	4	29	33	114
40	福岡	13	1	14	
41	佐賀	3	0	3	
42	長崎	19	4	23	
43	熊本	14	0	14	
44	大分	4	2	6	
45	宮崎	25	4	29	
46	鹿児島	6	2	8	
47	沖縄	10	7	17	
合計		437	180	617	617

グラフ12-1 国公立大学ブロック別合格者(数)



グラフ12 都道府県別国公立大学合格者(人)

